

障害者の在宅の生活をより良くするために

第四十九回として紹介する協会は、空知管内の最南端に位置し「ひょうたん型」の地形の町であり、周りに夕張市、千歳市、長沼町、栗山町が隣接する農業の町である由仁町身障者福祉協会（辻谷憲弘会長）です。

同協会は、平成二十年六月二十五日北海道身体障害者新聞で「新規会員加入促進事業 二十人の会員増実現」として紹介した協会です。

今回、同協会からこの障害者新聞を通して多くの方々に由仁町身障者福祉協会の活動を伝え、これからも会員や家族の在宅生活をより良くしていきたい、という熱い思いを持って投稿していただきました。

由仁町身障者福祉協会の紹介

同協会は、昭和二十五年に「北海道身障者福祉協会」設立を機に、町内の有志が分会の設立準備会を発足させ、昭和二十八年二月に由仁分区として設立しました。その後、昭和四十六年には会員数が二百名を超えました。が人口減と会員の高齢化により減少を続け、平成十九年には七十余名と激減しました。

このため、平成二十年において、町福祉課の支援・協力を受けながら、協会の活動を通して新規会員の加入を呼びかけ、その結果、三十名近くが入会し、現在では会員数が九十七名となっています。

現在の役員及び執行体制は、辻谷会長の下、副会長二名、相談役二名、理事（会計、総務、地区委員を含む）十二名及び監事二名の十九名の体制で、地域活動については会長、副会長、相談役、会計担当理事の計五名と十名の理事で、毎月の新聞配布、福祉サービスの情報集取・提供など、地域の会員や家族との関わりを大事にしながら取り組んでいます。



空知支庁管内身障者福祉月形大会 (平成21年8月)

主な年間行事及び事業活動内容

- ▽三月—総会・会員交流会
- ▽七月—空知支庁管内身障者福祉大会参加
- ▽七月—宿泊見学旅行（二泊三日 日中バス見学会員、家族、友人）
- ▽九月—由仁町福祉のつどい・ふれあい広場参加
- ▽九月—パークゴルフ交流会開催
- ▽十一月—由仁町文化祭出展（展示コーナー設置）
- ▽毎月—北海道身体障害者新聞を全会員に配布
- ▽随時—福祉サービスの情報収集・提供



安平町でのパークゴルフ交流会 (平成20年9月)

由仁町身障者福祉協会のPR

▽同協会は、身障者福祉の向上を目指し、高齢化・重度化してきている障害者の在宅の生活をより良くするため、社会参加の確保を目的として活動しています。

▽町・社会福祉協議会・農業団体・町内企業から活動支援があります。が、行事に参加する会員や家族等からも参加費を負担してもらい団体活動の有効性を重視しながら活動を進めています。

▽今後、活動に対する支援は、経済的なもののほか、多くの方々の人的、活動手段等の行動といった地域の力を得ながら実施していかねければならないものと考えています。



町民文化祭への出品作品の数々